特集　ひと☆人

吉岡町の農業をもっと元気に

有機農法に挑戦されている生産者　森田（もりた）　利夫（としお）　さん

肥料開発関係者　平形（ひらかた）　和志（かずし）　さん

インタビュアーの山﨑議員・秋山議員と

Q農業を始めてどれくらいになりますか。

A森田さん　45年くらいになります。５年前くらいから有機農法を始めました。

Q有機農法を始めるきっかけがあったのですか。

A森田さん　減農薬に興味があって、実際にやっている人の話を聞いたりして、有機肥料を自分で作ることから始めました。例えば魚粉や菜種、米の粉などを混ぜて発酵させて肥料を作りました。今は米ぬか・おから・廃菌床（はいきんしょう）を発酵させて作られる土壌改良剤も併用しています。この土壌改良剤は町外で使われていたのを知って、偶然にも土壌改良剤の研究に携わっていた平形さんが吉岡町出身の人だったので、いろいろ聞いて取り入れてみました。

この機械を使って、町内で肥料（土壌改良剤）を作っています

Q有機農法を取り入れる前と後では収穫など、どのような違いが出ましたか。

A森田さん　以前は動物が来ませんでしたが、先日もカモが田んぼに来ていました。栄養がある田んぼには鳥などの動物が来ます。また令和６年は食味テストに出してみたところ、高評価をいただけたので、以前よりお米の味も良くなったことが客観的に分かったと思います。

Q素晴らしいですね。今、気候変動などで大変だと思いますが、苦労されていることなどありますか。

A森田さん　やはり気温上昇でお米の実の数が減ってしまっています。自然相手のことなので、こちらも試行錯誤の連続です。

Q今後の目標などあれば教えてください。

A森田さん　千葉県や茨城県では、地元のお米を子どもたちの学校給食に活用している事例もあります。町内の学校だと、６～７トンのお米が作れれば１学校分のお米を提供できますので、味も良くして子どもたちへおいしいご飯を提供できるように頑張りたいと思っています。

A平形さん　森田さんの協力で、おいしいお米が作れる結果が分かったので、土壌改良剤が活用されてブランド米ができるといいなと思っています。またお米だけでなく、他の野菜などにも転用できないか研究中です。この農法が広がって吉岡町の農業がもっと元気になるよう、お役に立てればと思っています。

無農薬でブランド米を目指す森田さん

皆さんに聴きました

私たちが聴きました

秋山（あきやま） 光浩（みつひろ） 議員　山崎（やまざき） 守人（もりひと） 議員

議会広報常任委員が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、意見や思いを聴きます。今回は「農業の現状と将来」をテーマに、町で農業に携わっている皆さんにお聴きしました。

吉岡町の農業従事者の平均年齢は 73 歳で、高齢化が進み後継者もいません。また、農機や肥料など値上がりにより、利益が上がりません。このままでは衰退していくだけです。もっと農業政策に力を入れてほしいです。

後継者がおらず、高齢化が進み労働力不足の慢性もあり、収益が上がらないのが現状です。農業で生計が成り立つ助成や施策をお願いしたいです。特に若者が仕事に農業を選択するような政策をお願いします。

年齢が高くなり、農作業が短時間しかできません。体力的に難しくなってきました。子どもたちも今の仕事を辞めて農業をやるほど魅力がないと言っています。縮小の一途です。安定収入の魅力ある農業になってほしいです。

町や農協が主導し、家庭菜園レベルから自給自足を体験し、兼業農家に挑戦する若手を増やしたいです。

特産品・名産品を確立させることが課題。ふるさと納税返礼品にも、もっと積極的に挑戦すべきだと思います。

後継者不足と設備投資に難があることは明らかです。農機具の共同所有や、共同営農を考える必要を感じています。

人口は増えましたが、農業への関心は薄いままと感じています。営農に関心ある人は一定数いるはずなので、気軽に問い合わせできたり、体験できたりする環境整備が不可欠だと思います。

ブランド作物の確立や契約栽培などで農家の収入が安定するよう指導機関の必要性を感じます。

毎年後継者がいないなどで町内の農地が休耕地や宅地へ変わってしまっています。一方で若い人でも就農したい人や、今関わっている農業の合間で作付けをしたい人もいます。
ぜひ町には後継者不足で悩む人と、新たに農業を始めたい人との橋渡しをしてほしいと思いますし、そのような仕組みがあればいいと思います。

他県では、山間部にも関わらず地元でとれたお米や野菜を活用し、加工して販売し大成功している事例もあります。
町も町内生産者に声がけをするなどして、新たな特産品を作り出す、販売する場所を開発してほしいと思います。大変なのは分かりますが、アイディア次第で大きなビジネスになると思っています。